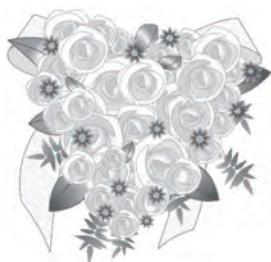


# 飛翔

いのち輝く社会を

大阪年金者組合の歩み 2009.7～2014.2





---

## もくじ

発刊にあたって	1
お祝いのメッセージ	2
座談会・年金者組合の思い出を語る	4
活動の記録	
2009年度	7
2010年度	9
2011年度	11
2012年度	14
2013年度	16
支部からのお祝いメッセージ	18
労働共済から全労連共済への歩み	20
<b>資料集</b>	21
「輝けいのちの行進」大阪実行委員会の総括	22
「輝けいのちの行進」ニュース	25
生活支援・まちづくり運動について	27
一年年金者組合大阪府本部・まちづくり委員会	
後期高齢者怒りの決起集会「中之島宣言」	29
10・22 怒りの年金者一揆inおおさか「宣言」	30
歴代府本部役員名簿（1989～2013年度）	31
2.5%年金削減異議あり！	33
一行政不服審査請求運動の中間総括	
組合員数推移表（1990年3月～2013年12月）	39
編集後記	40

---

# 発刊にあたって

全日本年金者組合大阪府本部  
執行委員長 永井 守彦



1988年3月18日、約500人の組合員でスタートしたわが府本部は、1万人組合員とともに25周年を祝賀しようと奮闘しています。一度も後退することなくここまで歩んでこられたのは、府本部、各支部役員を先頭にする「楽しみ七分、活動三分」の年金者組合運動を献身的に進めてきたことによりです。

退場するまで

現役と、運動を推進し、喜びを、そして悲しみをも共有してきたすべての組合員みなさんに拍手を送ります。そして、お礼を申し上げます。

この5年間の取り組みは、25年間の歴史の中で最も濃密なものであったと思います。

「少年に夢を！青年に雇用を！障がい者に光を！高齢者に安心を！」と呼びかけて、大阪から東京へ歩いた22日間の「かがやけ命の行進」。中央公会堂で開催した近畿決起集会、あの日、

「少年に夢を！青年に雇用を！障がい者に光を！高齢者に安心を！」と呼びかけて、大阪から東京へ歩いた22日間の「かがやけ命の行進」。中央公会堂で開催した近畿決起集会、あの日、

## 結成25年の歴史の中で最も濃密だった5年間

げて取り組んだ「10万人不服審査請求」、大阪は1万人を超える審査請求を組織することによって運動に大きく貢献しました。これをやりとげたことよって、年金者組合は質・量ともに新たな地平を開くことになるでしょう。頑張りすぎず、各々の事情、条件を十分斟酌した活動を推し進めましょう。

2014年を、

全日本年金者組合大阪府本部の歴史に燦然と輝く年にしましょう。

一人の一〇〇歩より、一〇〇人の一歩を！

93歳兵庫・貫名初子さんの決意表明、「60、70まだまだ若い、80、90花盛り」、年金者組合ここにあります。いずれも大阪の提案でした。

そして2014年、「年金下げな」の怒りを込め総力を挙

# 年金者組合をさらに強く大きく

2010年金一揆



## 結成25周年 お祝いの メッセージ

常に運動をリードして  
きた四半世紀



全日本年金者組合  
中央本部執行委員長  
**冨田 浩康**さん

2007年、後期高齢者医療制度への不服審査請求に組織をあげてとりくみましたが、大阪は、すでに2000年から介護改悪に対し、大阪社保協とともに不服審査請求に先進的にとりくんでいました。

一昨年の「かがやけ命の行進」も大阪の提案でとりくまれ、大きな反響を呼びました。

いま全国でとりくまれていている不服審査請求の大デモンストレーションの先進的役割を果たしてきたといっ  
ていいでしょう。

大阪府本部が目前にしている1万組織のラインを突破し、首都圏3都県とならぶ大組織として、とらわれない自由でおおらかな作風と先見性を、さらに発揮されることを期待しています。

経験と運動の蓄積を  
生かし一層ご活躍を



全大阪労働組合総  
連合議長  
**川辺 和宏**さん

最高の峰を築きつつ歩んでこられた25年の歴史に敬意を表します。

安倍政治の下で、平和と民主主義、社会保障も働く者の権利も深刻な事態に直面しています。

一点共同のさまざまな分野のたたかいが広がっています。大阪でも、橋下維新の会の独裁政治の被害が広がる中で、労働組合と府民の闘いが強まり、情勢を変えつつあります。困難な時期だからこそ、たたかう労働組合の役割がますます強まっています。

経験と運動の蓄積をもち、大きな組織に発展されている年金者組合と組合員の皆さんが、憲法を社会と暮らしに生かすたたかいを強められ、現実の社会生活の改善と国民生活の将来の保障を勝ち取られるために、

社会保障運動への協力  
に感謝



大阪社会保障推進  
協議会会長  
**井上 賢二**さん

大阪年金者組合25周年おめでとうございます。日頃から社保協運動にご協力いただき感謝しています。

秘密保護法案の陰で、社会保障の解体に導く「プログラム法」が成立し、今年4月から、医療・介護の改悪が具体的に進められようとしています。税と社会保障の一体改革で社会保障制度改革推進法が成立し、社会保障は「自助、共助」とされ、財源は消費税で賄うとし、国や企業の責任は全く抜け落ちていきます。

今でも社会保障が後退するなかで国民負担が増え、最低生活すら保障されず、医療や介護が受けられない現状です。また全国各地で孤独死、

一層のご活躍をされること、組織の一層の発展を心より期待申し上げます。メッセージといたします。

# \* 経験と運動の蓄積生かし

## 結成25周年 お祝いの メッセージ

大阪市交渉



介護自殺、労働者の非正規雇用が増え続けています。今こそ社会保障の拡充の運動が求められています。今後一層のご協力をお願い致します。

### 年金者組合の存在感 示した10年



大阪高齢者運動  
連絡会会長  
宮崎 守正さん

全日本年金者組合大阪府本部結成25年のご奮闘に心から敬意を表し、お祝い申し上げます。特に10年余の活動は「ここに年金者組合あり」を示すものです。「5年」誌は後世に示す最高の記録ではないでしょうか。心から発行を期待いたします。



### 暮らした権利を守る運動 で連帯した闘いを



大阪生活と健康  
を守る会連合会  
会長  
大口 耕吉郎さん

25周年おめでとうございます。年金生活者のくらしと権利を守る日夜のご奮闘に敬意を表します。昨年12月に成立した社会保障改革プログラム法で、介護保険などの一連の社会保障制度が改悪され、年金が引き下げられようとしています。私たちも年金者組合の皆様と連帯して、改悪を許さない闘いを進める所存です。貴組合のますますのご活躍を祈念します。

### 大阪労連共済拡大に大 きく貢献



大阪労連共済会  
専務理事  
前村 和宏さん

大阪年金者組合結成25周年おめでとうございます。貴組合が日夜、生活と権利、平和と民主主義を守る闘いの先頭で奮闘されていることに、心より敬意を表します。また、日頃は、大阪労連共済の運動に対するご理解とご支援有り難うございます。また、加入者拡大にも大きく貢献して頂いていることにお礼を申し上げます。安倍自公政権の大企業・財界、大金持ち優遇政治から憲法を遵守し国民・高齢者・労働者が安心して働き、生活できる政治に転換させなければなりません。貴組合のさらなる発展とご奮闘を期待し、25周年記念に対する御祝いの言葉とさせていただきます。



左から、若松・漁・松井さん

# 年金者組合の思い出を語る

## 《出席者》

漁かね子さん（1995年～2001年府本部副執行委員長）

若松 秀さん（初代府本部書記長、1994～2000年執行委員長）

松井幹治さん（1999年～2000年書記次長、2001年～2007年書記長、2008年～2012年執行委員長）

全日本年金者組合大阪府本部の結成から創生期にかけて、組織の要となつて奮闘してこられた若松秀・漁かね子・松井幹治さんに、当時の思い出や、今後の府本部への期待などを語っていただきました（座談会日時 2013年11月1日グリーン会館）。

## 年金者組合ってどんな組織

若松 1989年3月18日に谷町の「社会福祉指導センター」で大阪年金者組合の結成大会が行なわれた。3月18日は、偶然にもパブリックコミュニケーションの日と同じだった。



若松 秀さん

それまでに結成準備会を何度もやり、全日本年金者組合結成準備の一環として取り組まれた「イタリアの年金受給者組合視察研究団」（団長・引間博愛、統一労組懇常任代表委員）に大阪からは全動労西日本地本委員

長の新幹生さん（1994年～98年、府本部書記長）を派遣した。組合まわりなどをしてカンパを訴え、当時で50万円くらい集まったかな。大阪は、全国組織の全日本年金者組合より8カ月早く結成され、中央組織の結成と同時に加盟した。



漁 かね子さん

「漁 当時、「年金はありがたいものだ」と考えていたので、年金生活になつた。自分から率先して年金者組合に入った。若松 当時、「年金者組合って何ですか」とよく聞かれたものだ。そのとき、「自分がやりたいこと、好きなことをやる」という組合や」と説明していた。それが今の「楽しみ7分、活動3分」のスローガンになつたんやと思います。

組合事務所に冷蔵庫を置いて、会議がすむと買出しをして、みんなとワイワイ言いながら飲み会をしていたことも思い出します。

漁 天神祭のときは、各支部からたくさんの方が参加しましたね。食べる準備のときなどでも、話が大きい盛り上がったことを覚えています。また、本部の有志で旅行をしたとき、誰かが乗り遅れたり、飛行機が飛ばなかったりと、いろいろな思い出がある。本当に楽しかったです。

## 仲間増やし、事務所の建設、体制づくり

漁 自分のまわりの支部づくりがひとつの仕事になっていた。「漁さんは人の顔を見ると、年金者組合の話ばかりするな」と言われていた。そ

なつたとたんに文句が言えなくなつた。バイトなどをしていたとき、年金生活者の要求などを取り上げてくれる組織がないか、いろいろ訪ねまわつて、浪速区役所で働いていた永井守彦さん（現府本部執行委員長）にたどり着き、グリーン会館にそういう組織があることを知りました。松井 私の頃は現職当時から組合に加入していたので、退職して年金生活に入ったら、年金者組合に入つて活動することは当たり前のことだつ

のぐらい支部結成が大きな課題だった。90年に年金者組合に加入し、西成浪速支部をつくった。

**若松** 当時は大阪全体で5000〜6000人ぐらいだった。仲間増やしの課題は全国の運動と連動していたが、専従を置くようにしようというところで、3000人組織をめざして奮闘した。95年6月の第7回大会は、念願の3000人を達成して開催することができた。

しかし、事務所を構えるなど、次の課題が持ち上がり、その目標に向かって拡大に取り組んだ。

仲間増やしは「永遠の課題」だと思えますね。いま1万人達成が間近になっていますが、感無量です。早く達成してほしいですね。

**松井** 仲間増やしでは、府本部もいろいろな団体のOB会に訴えに行った。また支部にも友好組合の退職者名簿1300人分を行政区ごとに行ろし、拡大に入ってもらった。当時の労働組合も年金者組合への加入を訴えてくれていた。

同時に、組織が大きくなるのを見越して体制の確立を図るとともに、多くの組合員のカンパを集め、全国



松井 幹治さん

でも唯一自前の組合事務所をもつことができた。このことは、大阪が全国に誇れることですね。

**漁** 女性組合員が組織全体の36%にあたる500人近くになったとき、女性の要求と力の結集なくして組織の発展はないと、婦人部結成（現女性部）をめざしました。当時、副委員長は稲生亨さん（1992年〜9



女性部の宣伝行動

8年副委員長、99〜2000年書記長）から、「もうそろそろ婦人部を結成せなあかんで」と言われ、結成にふみきった。

支部婦人部の結成をお願いしに、真夏の砂利道を汗を拭き拭き訪ねていっても、「老人会があるから婦人部がなくても十分」と言われたり、労多く効少ないこともありました。結成当初は、婦人部の会合などでも組合用語が飛び交い、誰でもが解るような話をしてほしかったことを思い出しますね。

**松井** 大会や支部代での組合員の発言は、かつて所属していた組合の立場からの発言が多く、年金者組合独自の主体的な運動になっていないものが多かった。

街づくりなど地方行政を変えていくこうという地道な活動が求められるようになり、府本部もそれぞれ担当執行委員を決め、組織部、機関紙部、財政など、現在の執行体制の形づくりに力を入れてきました。

### 年金の毎月支給を要求

**若松** 当時の年金支給は月遅れの3ヵ月ごと、年4回の支給だった。「毎

### 私たちの綱領

日本国憲法は、全ての国民が個人として尊ばれ、平和の裡に生存する権利を保障しています。

私たち全日本年金者組合はこの憲法の理念を守り発展させ、より自由に、より豊かに生きていける社会をめざしています。

私たちは、高齢者をはじめすべての人にひらかれた組織として、思想・信条の違いをこえ、団結して行動します。

(一) 私たちは、要求で結集し、みんなの力を出し合って、その実現をはかり、心身ともに健康で楽しい高齢期をつくり出します。

(二) 私たちは、国と大企業の責任ですべての国民が健康で文化的な生活を保障されるよう、年金・医療・介護・福祉など社会保障制度の確立をめざします。

(三) 私たちは、全国の地域に根を張り、地域を基礎に運動をすすめます。

(四) 私たちは、労働組合をはじめ要求で一致するすべての団体と共同し、世界の高齢者も働く人とも手を取り合っています。

(五) 私たちは、核兵器のない平和・中立の日本を建設し、美しい地球を子や孫に残します。

(六) 私たちは、日本の政治、経済、教育、文化の民主化のために力を尽くします。

月支給を要求」した運動の結果、現在の2カ月ごとの支給になった。しかし、これもおかしいことであり、やはり当月分、当月支給の運動を展開する必要があると思う。

**漁** 当時は支給日の15日が日曜日や祝日の日に当たると、金融機関が休みのため後払いだった。これも中央



年金者組合大阪府本部創成期の功労者として、結成20周年祝賀会で紹介される(右から)漁・小川・伊藤・稲生・若松・富永さん

が大蔵省と交渉して前日支給が実現した。こんなことから、私は年金者組合の存在意義を感じた。

**松井** 最低保障年金の要求は当初から掲げて運動をすすめてきた。今日ではマスコミにも取り上げられるようになり、社会通念にもなってきた。

**若松** 2000年4月1日に始まった介護保険制度は、「保険あつて介護なし」と懸念されていた通り、認定を受けても利用料が高いため、利用を控えたり、あきらめたりする人も出てきた。大阪府職員労働組合元委員長の福井宥さんが一人で「介護保険料決定通知」に対する不服審査請求を起こし、マスコミも大きく取り上げた。「介護保険に異議あり！」を合言葉に、一人でも入れる自主的な運動団体「介護保険料に怒る一揆の会」の結成(2001年9月・府立労働会館)につながり、私も参加した。

### 今後の年金者組合の課題は

**若松** 労働組合出身者だけの組合ではなく、自分の住んでいる地域の人たちとの結びつきによる地域の人たちの年金者組合をめざさなくてはな



不服審査請求する組合員

らないと思う。地域に根ざす年金者組合にすれば、行政にものが言えるだけでなく、地域の要求が実現できるようになる。それがこれからの課題だと考えています。

**漁** 相談活動などの取り組みをすれば地域に根ざす年金者組合にしていけるのではないか。年金者組合運動の中身を常に考えていく必要があると思います。

**松井** 農村部では意見書などが採択されることが多い。しかし、都市部はそうはなっていない。都市部での行政との力関係を改善していくことが大きな課題だと思う。そのためにも、大きな組織にしていくことが必要だ。

### 【運動の基本点】

①組合民主主義の徹底、組合員の意見、要求を基礎にした活動②生活と権利を守る運動に全力を挙げる③年金制度の改善に反対し、生活できる年金制度の改善を目指す④核兵器廃絶と民主主義の擁護、革新統一のために奮闘する⑤全国単一で、地域を基礎にする個人加盟の労働組合として、その優れた特徴をあらゆる活動に役立て、日本の労働組合に新風をふかす⑥階級的ナショナルセンターの確立のため奮闘する。

### 【年金者組合統一要求】

①公的年金を改善し、健康で文化的に生活できる年金額にひきあげること②働きたい高齢者に、その意欲、経験、能力に応じた就労を公的に保障すること③すべての高齢者が健康に生き、疾病に際しては無料で適切な医療を受けられるようにすること④高齢者が健康で快適な生活が送れるよう環境、施設を改善拡充すること⑤高齢者が教養、知識を高め、社会活動への参加が保障されるよう必要な援助を行うこと⑥核兵器廃絶、平和・民主主義の擁護、国政革新と革新自治体の実現。



# 組合員全国10万人達成を基礎に当面 高齢者人口の1%めざす

## 組織拡大3カ年計画達成へ

2009年7月11日、第21回定期大会で組合員8千人を突破しました。2010年2月19日に開催された第22回大阪府本部委員会で、高齢者人口比1%の11800人をめざすとした組織拡大3カ年計画達成に向けて奮闘する決意を固めました。

第25回中央委員会が2010年6月14日・15日の2日間、東京・全労連会館で開催され、篠塚中央執行委員長は「組合員10万人の達成を喜びと共に、その成果は要求実現を闘う上で非常に大きな力になる。一層前進しましょう」と挨拶。政府発表の消費税10%増税に反対し高齢者の命と暮らしを守る運動を進めることを決めました。

2009年8月30日の衆議院選挙で、自民・公明政権が歴史的敗北に追い込まれ、後期高齢者医療制度の廃止などをマニフェストに掲げる民

主党が大勝しました。

## 後期高齢者医療制度廃止を

9月14日・15日別府で開催された第23回日本高齢者大会は、全国から延べ4千人が参加し「後期高齢者医療制度の廃止・介護保険制度の抜本的改善」などの要求を実現させる決意を固めました。

大阪府本部は11月11日、大阪府広域連合事務局と交渉を行い、全国広域連合協議会が厚労省に「後期高齢者医療制度の堅持を求め」要望書を提出したことに強く抗議しました。また、今年度の後期高齢者医療保険料軽減措置の継続と、大阪府独自の減免規定の策定を求めました。

## 最低保障年金制度の創設を

「シンポジウム。これでいいの

か！年金問題」が2009年8月1日、年金者組合大阪府本部・介護保険料に怒る一揆の会・全厚生労働組合大阪支部の3団体の呼びかけで、国労会館ホールで開催され、180人が参加しました。

全日本年金者組合中央本部・久昌政策調査部長が「すべての人に最低保障年金を」、全厚生労働組合・飯塚委員長が「年金の悲劇と社会保険料の廃止・解体」と題して講演しました。

大阪府本部主催「年金者一揆」大阪集会は10月15日、中之島公園で開催し、最低保障年金制度の確立・後期高齢者医療制度の廃止などの実現をめざし、過去最高の517人が参加しました。ムシロ旗コンクールなど、かつてない盛り上がりの中で集会を行い、御堂筋をパレードしました。

翌年2月24日にも「年金者一揆 in 大阪」を扇町公園で開催、後期高齢者医療制度廃止、年金の引き上げ、消費税に頼らない最低保障年金制度

川柳 「もう待てぬ老いのこぶしが天を衝く」

### 組合のできごと

- 2009年
- 8・1 「シンポジウム、これでいいのか！年金問題」 国労会館 180人参加
- 9・14 15日日本高齢者大会 別府市 4000人
- 10・15 「年金者一揆」大阪集会 中之島公園 517人
- 11・8 国民大集会 東京代々木公園 35000人
- 12・24 対市交渉 市内支部協議会 大阪市役所30人超
- 2010年
- 1・20 大阪労働共済解散総会と大阪労働共済発足レセプション シテイプラザ
- 1・24 「赤バスなくさん」として！大阪市民集会」中央区150人
- 2・24 「年金者一揆」大阪集会 扇町公園 500人
- 3・21 「なくせ貧困・生活危機突破、3・21府民集会」扇町公園 4000人
- 5・22 「守ろう、いのち、なくせ貧困」 エル大阪1000人
- 6・5 「年金問題シンポジウム」クレオ大阪 250人



ムシ口旗を掲げてパレードする八尾柏原支部の仲間 (2010. 2. 24)

の確立を掲げ、府下から500人が参加しました。「年金一揆川柳」コンクールには73人の応募があり、集会成功の大きな力となりました。

2009年12月24日、「赤バスなぐさんといて！」と年金者組合市内支部協議会は30人を超える組合員が参加し、大阪市当局と交渉を行いました。

### 橋下大阪市政の市民要求切り捨て「改革プラン」との闘い

橋下市長の赤バス全廃・敬老パス有料化や後期高齢者医療制度・国保料問題で、福祉切り捨てにつながる大阪市の「改革プラン」をやめよう訴えました。

### 労働共済から全労連・大阪労連共済へ

2006年の保険業法改悪によって、多くの自主共済組織が解散させられました。労働共済は「複数の組合」であることが「保険業法の適用対象とされ、解散させられる可能性がある」と予測し、「一の労働組合」である120万組織の全労連・大阪労連に、労働組合自主共済を引き継いでもらうことになりました。

### 「年金一揆」川柳コンクール



2010. 2

- 【一席】もう待てぬ 老いのこぶしが天を衝く 堺南支部・中山正久
- 【二席】公約を 守らないなら替えてやる 吹田支部・岩本廣便
- 【三席】安保廃棄 その一声が明日拓く 銀行支部・松永伸二

### 【佳作】

- しわの手に 大志を抱きむしる旗 高槻島本支部・織部巖
- 口ばかり こんな政治はもうごめん 此花支部・井本接子
- 軸足を どこにおいての政りごと 城東支部・川端徳二郎
- 軍備費を 介護に使う政治力 城東支部・芳文雄
- 仕分けできる ほどの年金にしたい 茨木支部・蔵本福子

### 社会の出来事

- 2009年
- 7・19 民主党鳩山代表、普天間基地代替施設は「最低でも県外に」発言
- 8・30 第45回衆議院選挙で民主党が大勝し政権交代へ
- 11・6 行政刷新会議が10年度予算に關しての事業仕分け開始
- 11・20 厚生労働省、初めて日本の貧困率を15・7%と発表（先進国中で最大）
- 外務省で核持込み密約を示す文書発見
- 11・30 共産党のビラ配布、住居侵入罪不当の上告を最高裁が棄却
- 12・1 原爆症救済法成立
- 2010年
- 1・1 日本年金機構発足
- 1・24 沖繩・名護市長に普天間基地移設反対派の稲嶺進氏が当選
- 4・20 宮崎県で口蹄疫の牛確認
- 4・25 普天間問題で沖繩県内移設反対9万人集会（県内全41市町村長出席）
- 6・4 民主党・菅内閣成立

# 未曾有の大震災・津波・原発事故で大切な仲間失う

## 年間1165人を拡大

2010年7月13日に行われた開会あいさつで松井委員長は、「中央本部が10万人を超える組織に到達、大阪府本部も仲間をふやす中で大会を迎えた。組織の53%を占める女性の力を、おおいに発揮していただきたい」と述べました。

永井書記長は「後期高齢者医療制度即時廃止」署名が1万筆に達成したことや、「秋・春の月間」で1165人を拡大し全国をリードする成果をおさめたことを強調、「1万人組織」をめざす方針案を提起しました。また「大阪府本部規約」が改正されました。

## 第24回日本高齢者大会 イン水戸

「町から村からの連帯で一人ぼつちの高齢者をなくそう」と、9月13～14日に茨城県で日本高齢者大会が開かれました。この年は、岩手県沢内村で



楽しみ7分の活動を交流する春のなかまづくり月間スタート集会

「老人医療無料化」が行われて50年にあたります。全国から2日間で延べ4513人、大阪から79人が参加しました。

13の学習講座と15の分科会が行われ、池辺晋一郎さん（作曲家）が記念講演をしました。

## 暮らせる年金求め一揆

10月15日に「暮らせる年金を、後期医療制度廃止」を求めて「年金者一揆」

が行われ、全国で約1万人が決起しました。

大阪では、5000人の参加者が中之島公園で集会後、天満橋までパレードをしました。この日にむけて結集した「請願署名」は3842筆となり、近畿厚生局へ提出しました。

## 豊かな高齢期めざし大阪集会

12月4日開かれた大阪高齢者集会は、①保険で快適な歯科治療を②狙われる介護保険制度③地域組織を各地につくろうの3分科会と、井上英夫さん（日本高齢者NGO会議代表）の記念講演「希望ある高齢期を―住み続ける権利と高齢者権利条約」。

社会保障の「構造改革」路線が格差と貧困、不平等社会をつくり出している実相を明らかにしたうえで、豊かな高齢者、高齢期をめざして、政府、自治体、政党などへ自らの生活実態を訴えていく大きな運動を展開していきましょうと呼びかけました。

## 2・17高齢者怒りの近畿

## 決起集会に1200人

2011年2月17日、中之島公会堂に近畿各地から1200人が参加して、

### 組合のできごと

#### ■2010年

8・10 「新たな高齢者医療制度に関わる公聴会」（中之島公会堂）

8・22 大阪社保協学校（大阪民医連会館）

8・26 不服審査一斉提出行動  
介護・286件、国保・103件、後期医療・93件

11・4 府本部主催「うたごえ喫茶」

11・24 赤バス市民決起集会

11・24 機関紙づくり講習会

11・25 国保広域化反対・意思統一決起集会（いきいきエイジングセンター）

#### ■2011年

3・11 重税反対全国統一行動

3・31 府本部大花見大会（桜ノ宮）

5・3 「9条の会おおさか」講演会（エル大阪）

5・28 介護保険問題学習会

6・16 中央本部定期大会（熱海）

6・25 大阪高齢者運動連絡会総会（大阪保険医協会）

「高齢者怒りの近畿決起集会」を開催。

松井府本部委員長は基調報告で、「65歳以上の高齢者人口は2944万人に達し、高齢者を取りまく環境が年々悪化しているうえ、若者の雇用の悪化と低賃金・貧困の増大がすすんでいる。世代を超えて連帯することが求められている」と強調。兵庫を代表して93歳の貫名初子さんが、高齢者の生活状況を述べて決意表明し参加者を励ました。

府本部は、結集された個人請願書5564筆を2月24日近畿厚生局へ提出しました。

### 国保広域化反対意思統一集会

11月25日「国保広域化反対意思統一集会」がいきいきエイジングセンターで行われ、府下の各地域、団体から171人が出席しました。

基調報告で、大阪社保協の寺内順子事務局長は、「国民健康保険料が上がっている大きな要因は、国庫負担が最高時の50%から25%に半減」したことを

強調。

「大阪府は、ノルマを達成できなかった自治体にはペナルティを科す」「大阪で、年収200万円以下の労働者は四分の一を占め、広域化で滞納者はふえる」と見通しを明らかにしました。11月30日に「毎日新聞」が「18歳以下無保険の子どもたちの実態」を取り上げ、全国で問題になりました。

### 東日本大震災で支援募金

3月11日14時46分、東日本を大地震と大津波が襲い、未曾有の被害をもたらしました。世界で4番目という記録的な地震と津波による死者の65%が高齢者です。2カ月を経過した被害状況は、死者15188人、行方不明者8742人（2011年6月20日現在）、避難者は約9万人。年金者組合員は、東北3県で死者9人、不明者3人です。天災に加え、人災である原発事故も引き起こしました。利潤第1主義の電力業界と根拠のない安全神話を捏造し推進してきた自公民歴代政権の責任は

重大です。日本列島の海岸線に54基もの原発が建設され、いまや日本は、世界第3位の原発大国になっています。府本部が呼びかけた震災救援募金に206万円、全国で2200万円が寄せられました。



松井委員長を先頭に東日本大震災被災者への募金を訴える府本都役員

## 東日本大震災募金 全国2200万円、大阪206万円集まる

### 社会の動き

- 2010年
- 7・11参院選で民主党敗北、与党過半数割れ
- 8・10「韓国併合」100年で菅首相談話、朝鮮植民地支配を謝罪
- 9・7尖閣列島付近で中国漁船が海上保安庁巡視船に衝突、中国各地で反日デモ線開通
- 2011年
- 1・14チュニジアでデモ、民主化を求める「アラブの春」の端緒に
- 3・11東日本大震災、三陸沖震源でM9・0、地震・津波で岩手・宮城・福島3県に壊滅的な被害  
初の「原子力緊急事態宣言」発令
- 5・6菅首相、静岡県浜岡原発の停止を中部電力に要請
- 6・16大阪府議会、教職員に「君が代」起立斉唱を義務づける条例可決
- 6・30消費税増税を含む「社会保障と税の一体改革」案を決定

# 大阪↓東京へ、すべての人と 連帯し「輝け命の行進」

沿道の住民・自治体から

共感と歓迎

「命輝く社会を願う年金者組合の行進」（略称・かがやけ命の行進）の企画は2011年12月の年金者組合近畿ブロック会議の交流会の場で誕生しました。キャッチフレーズは「少年に夢を 青年に雇用を 障がい者に光を 高齢者に安心を」として、高齢者だけの課題ではなく、若い世代、苦難を強いられている全ての人々と連帯する運動と位置づけて取り組まれました。

5月30日大阪城公園野外音楽堂で1200人の参加でスタート集会を開催。この模様を組合員がYouTubeに投稿し反響をよびました。

「年金下げな、消費増税するな」と大きく書かれたオレンジカラーの鮮やかなTシャツの隊列は、沿道の住民から熱烈な声援を受け、沿道の自治体要請行動では、愛知県弥富市、

三重県亀山市、鈴鹿市、朝日町、桑名市など行進団に対する共感と歓迎の応対があり、朝日町長から一万円



「年金下げな、消費増税するな」と訴え続けて行進

少年に夢を 青年に雇用を  
障がい者に光を 高齢者に安心を

のキャンペーンがありました。伊勢新聞、京都市報、中日新聞、新かながわなどが報道しました。

神奈川県本部から「時宜を得た取り組みであった。近畿ブロックの決断に敬意を表したい」との意見や「大阪のニュースを読んだ。なんと画期的な取組みか。ニュースから沿道の庶民の共感と熱烈な支持の思いが伝わり涙が出るほど感激した」という電話もありました。また、東京都江戸川支部から「行進が始まり、ドラマやエピソードあり、各本部、支部の活動にはずみを与えましたね」、千葉県松戸支部から「東京の行進最終集会（6月20日2000人が参加）に参加して大きな元気をもらいました」、福岡県委員長は「春の拡大月間を迎えるにあたって輝け命の行進の持つ意味をつかんでほしい」など全国の組織や組合員に年金者組合運動への確信と元気を与え、励ますことができました。

## 組合のできごと

### ■2011年

- 7・27 泉南アスベスト公判
- 8・26 不服審査請求一斉提出
- 8・27 これでもいいのか、日本の年金2011
- 9・30 第5期介護保険事業計画策定に向けた意思統一集会
- 10・14 年金者一揆（女神像前）
- 10・30 近畿ブロック女性交流集会・神戸
- 11・2 大阪高齢者大会（エル大坂）

### ■2012年

- 1・18 介護保険学習会
- 2・22 2条例許さない府民集会（小森陽一東大教授）
- 3・3 近畿総決起集会
- 4・24 阪口延宏さん（副委員長・組織部長）を偲ぶ会
- 5・30 「輝け命の行進」スタート集会（大阪城野外音楽堂）
- 6・20 「輝け命の行進」到着集会（東京日比谷野外音楽堂）
- 6・22 年金・介護保険制度への怒りを結集する学習決起集会



近畿ブロック代表による近畿厚生局交渉 (2011. 10. 20)

## 「命の行進」へんくつ参加記

大勢で要求を唱和しながら行進するのが「デモ行進」。昨年二人で「命の行進」ののぼりを掲げ、「年金下げな」のTシャツを着て、早朝に「行進」では通らない所を走って参加した。

振り返る人、声援する人、好意の

眼差しの人など、反響を肌で感じる事ができた。参加の仕方はさまざままでいい。

(大阪私学退職教職員の会・尾上 順)

## 「行進を繋ぎたい」の思い込め走る

東京までの行進の初日が守口と知り、中之島から京都までの大阪府内

を切れ目なく繋ぎたいと、尾上さんを誘って走り、守口から枚方間を無事繋ぎ、中之島へ守口、枚方へ八幡と府内を通し行進・走破できました。これに気をよくして7月には国民平和大行進の府内幹線コースの空白6区間も走って繋ぎました。

(高槻島本支部・川瀬浩二)

## 1万2千人組織をめざす

### 6カ年計画

第20回中央本部定期大会が6月16日～17日熱海で開催されました。組織

拡大では、今後6年間で20万人の年金者組合をめざすことを確認。それを受けて、第23回府本部定期大会で6カ年計画を決定し、2012年1万人、2017年29回大会までに1万2千人組織をめざすとし、「年間最低拡大目標は、全ての支部が1年間に毎月1人、年間12人の純増。現勢100人以下の支部で、それでも困難な支部はその半数の6人」としました。

組織拡大では、住吉支部が街頭宣伝で加入を訴える、堺北支部では新しいサークルを立ち上げ新しい仲間を迎え、羽曳野支部は加入者の大半を女性が増やしているなど、各支部

とも拡大に奮闘しました。

## 豪雨の中で年金一揆

野田政権に対して「大増税と社会保障の削減は許さない」と高齢者の怒りがひろがる中、2011年10月14日全国一斉に年金一揆を展開。明治公園で開催された中央集会には関東各地から3100人が参加しました。

大阪府本部は激しく降り続く雨のなか、正午から淀屋橋で宣伝行動をしました。女性部の花笠音頭で盛り上がったなか、梅田知事候補やわたり市長候補の挨拶などがありました。13時から中之島女神像前で決起集

## 社会のひらき

### ■2011年

- 7・1 東日本で電力使用制限令発動
  - 9・2 野田佳彦内閣発足
  - 9・17 格差是正を訴えニューヨークで「ウォール街を占拠せよ」運動始まる
  - 9・19 東京で脱原発集会、6万人が参加
  - 11・11 野田首相、日米首脳会議でTPP参加意向を表明
  - 11・27 「大阪維新の会」橋下徹・松井一郎が大阪市長と府知事に当選
  - 12・16 野田首相、原発事故は収束と宣言
  - 12・30 東日本大震災の人的被害は死者1万5844人、行方不明者3451人、避難者は12月15日現在33万4786人
- 2012年
- 1・6 原発、原則40年で廃炉へ
  - 2・14 日本銀行が事実上の「インフレ目標」導入年1%設定
  - 5・22 東京スカイツリーが開業
  - 6・14 6歳未満の男児、初の脳死判定
  - 6・26 消費増税法案衆議院通過

会を行ないました。決意表明は雨で原稿が濡れて読めないほどのなか、羽曳野支部と堺北支部が元氣よく行ないました。

残念ながらパレードは雨が強くなってきたため中止となりましたが、豪雨にもかかわらず府内各地から多数の参加があり、高齢者の怒りとパワーを示しました。

## 怒りのリレートークと1000人の大宣伝隊

11月5日ナンバ高島屋前で、政府が「税と社会保障の一体改革」で消費税増税、年金の支給開始年齢の引き上げ、年金支給額の引き下げなど、増税と社会保障の切捨ての方針を打ち出したことに対し、「これでいいのか くらし・政治」をメインスローガンにして宣伝行動「怒りのリレートーク」を開催。支部からピラ宣伝隊として100人が参加。通路の両側に肩を触れ合うように並んだため、高島屋前を占拠するほどの盛況ぶりでした。

リレートークでは、農民組合連合会の佐保副会長、原発ゼロの会の中村副委員長、高齢者連絡会の長坂民

雄事務局長をはじめ、「税と社会保障の一体改革はNO」「大阪市の赤バス・敬老バスの継続を」など10人の弁士がそれぞれの立場から「怒りのトーク」を展開しました。2時間にわたる「リレートーク」の合間には、箕面支部組合員の「素人漫才」もありました。

## 「年金下げるな」2・15全国統一行動

年金支給日の2月15日、緊急の全国統一行動が行なわれました。府本部は天満橋で「年金問題は高齢者だ



青森で開かれた日本高齢者大会

けの問題ではない。若者、働く現役世代を直撃する大変な悪政が始まっている」と宣伝を行った後、中大江公園で集会を開き、参加者160人が近畿厚生局までデモ行進。10人の代表団が当局に対して、政治への怒りなどを表明して個人請願書2000筆を提出しました。

## 大阪知事選、大阪市長選のダブル選挙

11月27日の知事選と市長選のダブル選挙では、「知事には梅田章二さん」「市長選では平松邦夫さんの再選を」（市長選では橋下・維新阻止のために候補者の一本化を図る）と願ひ、橋下維新の会の「独裁を許してはならない」と全国からの支援に支えられた闘いでしたが、私たちの闘いは結実しませんでした。

しかし、選挙を通して「独裁許すな」「憲法、民主主義を守れ」という広範な共同の広がり、連帯という宝物を得ることができました（後の堺市長選に結実）。私たちの要求実現のためにも、橋下維新の独裁を許さない闘いを進めることの大切さが明らかになりました。

## 府本部女性部5年の歩み

- 09年4月交野支部女性部・池田支部女性の会結成
- 9月箕面支部女性部結成
- 10年4月21日橋下知事へ「日の丸・君が代問題」、鳩山首相へ「普天間基地撤去問題」で抗議FA X送る
- 10年10月～11年3月くらし実態アンケート、1897人分集約
- 11年4月20日東日本大震災で救済活動街頭募金
- 11年6月～10月ブロックごとに女性のつどい始める
- 11年8月岸和田支部女性部結成
- 12年3月ジェンダー学習会
- 12年10月第20回近畿ブロック女性のつどいに、近畿から260人参加
- 13年3月大阪狭山支部女性部結成
- 13年5月維新の会・橋下市長の慰安婦暴言に対し抗議行動
- 13年10月16日府本部女性部結成20周年記念のつどい

# 社会保障大改悪・橋下維新の会とのたたかい前面に

## 計画と行動で1万人めざそう

5月30日から6月20日にかけて行なわれた「輝け命の行進」は、近畿ブロックの底力を全国に示すとともに、各県の年金者組合に共感と激励を与えました。

87人の代議員が出席した第24回府本部定期大会では「命の行進」の成功に確信を持ち、「税と社会保障の一体改革」阻止の闘いのためにも、早期に1万人組織の実現をめざすことを確認しました。

この提起を受け、秋の組織拡大は「計画と行動で1万人をめざそう」と各支部の取組みが展開されました。とりわけ、富田林支部は「歌声喫茶」を中心とした取組みによって組織が倍増しました。こうした結果、秋の組織拡大は増506人、減272人、純増234人となり、1万人達成には至りませんでした。



北摂ブロック女性部交流集会

4月から始まった春の組織拡大では、「秋の残目標を含め純増560人を勝ち取り、1万人組合員で定期大会を迎えよう」を合言葉に各支部の奮闘が始まりました。4月1日北区民ホールでの「改憲阻止、憲法を生かす国づくりを・1万人組合員達成・春のスタート集会」には300人が

参加。講演した勤労協・中田進さんは「憲法が危険に晒されている今、年金者組合が力を発揮してほしい」と言及しました。

北河内ブロックは、7支部が泊り込みで、仲間ふやしや支部の課題について経験や悩みを出し合い討議をすすめる、大阪狭山支部は、女性部結成をめざした取組みの中で女性9人が加入しました。交野支部は年間30人目標にしましたが、秋の段階で31人になり、春の目標は300人組織達成という大きな目標に挑戦することになりました。

## 年金など社会保障改悪とのたたかい

8月、消費税を10%にする増税法案、社会保障の大改悪に道を広げる「社会保障制度改革推進法案」など関連法案が民主・自民・公明の3党合意で強行採決されました。

こうした情勢のなか、10月19日「年金者一揆大阪」を大淀コミュニティセンターに410人の参加で開催。講師の伊藤千尋さん（ジャーナリスト）が「ひとりでは世界を変えられることはできないが、ひとりから始

### 組合のできごと

- 2012年
- 9・27 近畿ブロック役員交流集会（雄琴）
- 10・19 全国統一行動年金者一揆（北区・大淀コミュニティセンターホール）
- 10・24 近畿ブロック女性の集い（堺市）
- 12・1 大阪高齢者大会（エル大阪）
- 2013年
- 1・8 前進座公演（京都南座）
- 3・10 原発ゼロの日関西2万人行動（剣先公園）
- 3・21 近畿ブロック支部交流集会（神戸・須磨）
- 3・29 共済担当者会議
- 4・2 春の拡大月間スタート集会（北区民ホール）
- 4・29 年金削減阻止・年金者組合大行動（日比谷野外音楽堂）
- 4・27 市交通シンポジウム（クレオ大阪東ホール）
- 6・8 社会保障改悪消費税増税に反対する府民集会（クレオ大阪中央）





地下鉄・市バスの民営化許すなど  
宣伝行動

まり、「世界は変わる」と強調しました。

10月24日、「年金2・5%削減は許さない」と近畿厚生局に70人の参加で6251筆の請願書を提出。中央本部から「年金引き下げ2・5%を中止せよ」の署名運動が提起され、吹田支部は3カ月で計12回の宣伝・署名活動を行い、2300筆を集約しました。

年金削減反対の中央行動には8人を代表派遣し、団体署名238筆を国会に提出しました。

8月24日、介護・医療の保険料に対する「不服審査請求」の一斉提出行動には、70人が参加して737通を提出しました。

13年度は介護752件、国保24

3件、高齢者医療保険料222件の合計1217件でした。また、生健会・一揆の会とともに大阪府に対して介護保険制度に関する要望書を提出しました。

大阪労連に加盟する労組とともに、大阪社保協や関係諸団体を結集し、「社会保障闘争推進本部」を立ち上げ、学習会や毎月25日ナンバ高島屋前で駅頭宣伝を行いました。

### 橋下「維新の会」との闘い

橋下大阪市政に対する闘いが展開されました。「大阪市政改革プラン」は「市民はいたる所で贅沢な市民サービスを受けている」として、「敬老パスの有料化、赤バス廃止など市民サービスの廃止・縮小や有料化する」というものです。市が実施した「市政改革プラン」に対するパブリックコメントは、短期間で1500件以上

のコメントを提出するとともに、議員要請も展開しました。また、住吉市民病院の廃止、地下鉄・市バス民営化など、大阪市内協議会を中心に、要請ハガキ行動や区役所前座り込み、議会・議員要請を行いました。その結果、地下鉄・市バス民営

化条例が継続審議となりました。

また橋下市長の「慰安婦」暴言に対する撤回と市長辞任を求める運動も、女性を中心に取り組まれました。

### 第20回近畿ブロック女性をつどい

10月24日、第20回近畿ブロック女性をつどいが堺市で行なわれ、近畿から260人を超す仲間が参加しました。木津川計さんの講演のあと、近畿各県から活動報告や出し物の発表などがありました。

### 日本高齢者大会（高松市）、大阪高齢者集会開催

第26回日本高齢者大会が10月10日から11日四国の高松で開催され、全国から5100人、大阪から320人が参加。福島の原発、沖縄のオスプレイ、大阪の維新の会の生々しい報告が行なわれました。

「豊かな高齢期へ高齢者が立ち上がる時」をテーマに大阪高齢者集会在12月1日行なわれ、日高連の篠崎次男さんが「ひとりぼっちの高齢者をなくす高齢者運動」を講演しました。

## 社会のつどい

- 2012年
- 7・1 大飯原発3号機再起動
- 7・27 ロンドン五輪開幕
- 9・11 尖閣諸島を国有化
- 9・28 「日本維新の会」が発足
- 11・6 オバマ米大統領再選
- 12・16 衆議院で自民党圧勝
- 12・26 安倍内閣が発足
- 2013年
- 1・22 日銀、2%物価目標導入
- 1・28 通常国会召集
- 2・18 東通原発「活断層の可能性高い」と公表
- 2・22 日米共同声明「TPP」推進
- 3・6 オスプレイ本土初飛行訓練
- 3・15 安倍首相TPP交渉参加を表明
- 3・22 安倍政権、辺野古埋め立てを申請
- 4・5 福島原発の汚染水漏れ公表
- 4・19 ネット選挙運動解禁
- 5・13 「慰安婦制度は必要だった」と橋下大阪市長発言
- 6・6 スノーデン氏米政府のネット個人情報極秘収集を告発
- 6・22 富士山が世界文化遺産に
- 6・23 都議選で共産党躍進
- 6・26 iPS細胞 初の臨床へ

# 年金削減に異議あり！ 1万人の不服審査請求成功させる

歴史的な大運動・年金削減不服審査請求、全国で12万6千件・大阪1万2000件！

2012年12月年金者組合中央委員会で提起された「2・5%年金削減に異議あり！10万人不服審査請求運動」は、1月31日全国で12万6千件、大阪で1万2000件を超えるという歴史的な大運動となりました。

大阪では7月以降、ほとんどの支部で複数回の学習会を開催。いくつかの支部では組合内にとどまらず、



過去最高700人が参加した怒りの年金一揆

地域に案内ビラを配布、市民の参加で組合員拡大にもつながりました。

12月10日前後、減額の改定通知書が届いて書き込み開始。35支部が組合員数を超える件数を集めました。

1月31日、社会保険審査官の前に10人の代表団が、10174件の不服審査請求書を積み上げ、それぞれ不服審査の理由を延べました。当日正午から1時までの天満橋交差点街頭宣伝は、230人の組合員が参加。まさに「年金削減に異議あり！」の怒りで交差点を「占拠」しました。

NHK大阪が街頭宣伝、審査官への提出場面取材、当日夜に放映しました。最終締め切り2月6日10228件。

この運動を通じて得た経験は、府本部、各支部の貴重な財産となり、一人ひとりの組合員と支部がさらに固い絆で結ばれ、地域の高齢者とのつながりを深めるきっかけとなるでしょう。そして何よりも、分断と孤

立を乗り越えて、人間らしく生きるために人々と連帯して闘うことの大切さを、広く社会に発信できたのではないのでしょうか（記念誌34～38頁「行政不服審査請求運動の中間総括」参照）。

## 橋下・維新の市民生活破壊・市営交通投げ売り、「都構想」との闘い

住吉市民病院統廃合や赤バス廃止などをこり押しし、地下鉄・市バスの「投げ売り」＝民営化、大阪都構想区割り案を進める橋下・維新との闘いが引き続き課題です。

7月の参議院選挙結果は橋下・維新の全国展開にストップをかけるものでしたが、大阪では大きな後退はありませんでした。年金者組合大阪府本部は、大阪市内支部協議会を軸に府下全支部対応で「大阪で橋下・維新の息の根を止めよう」と運動を進めました。

市内協議会は、「大阪市をよくする会」「市営交通の会」の中で、市営交通民営化反対署名、毎月の区役所前宣伝活動など地道な活動の先頭に立ち、運動を背景に8月8日には、

### 組合の活動

- 2013年
- 7・31 「介護保険・国保・後期高齢者医療不服審査請求運動」学習会
- 8・22 不服審査請求一斉提出集会
- 9・12～13 日本高齢者大会（三重県津市）
- 9・7 堺市長選年金者デー宣伝行動（堺駅前100人）
- 10・6 25周年記念囲碁大会
- 10・16 女性部結成20周年記念のつどい（東成区民センター）
- 10・22 年金者一揆（女神像前）NHK放映
- 10・24 近畿ブロック女性をつどい（京都教育センター）
- 11・2 日本のおたごえ祭典
- 11・28 大阪高齢者大会（エル大阪）
- 2014年
- 1・22 25周年記念卓球大会
- 1・31 行政不服審査請求提出行動と天満橋駅前宣伝
- 2・15 近畿総決起集会（南御堂会館）

14年度予算関連大阪市交渉を行いま  
した。

2日にわたって宣伝カーで市内各  
地を巡る街頭宣伝、7月から11月  
にかけての市内各支部の市議会議員面  
談要請なども取り組まれる中で、市  
営交通民営化条例案を3月、5月に  
続き11月議会でも継続審議とさせま  
した。

### 堺市長選挙で維新候補を阻止

「大阪都構想」拒否、「橋下・維  
新ハズムを通すな！」と堺市長選  
挙で維新候補と対決する竹山現職候  
補当選のために、堺南北両支部を先  
頭に年金者組合は大きな役割を發揮  
しました。

9月7日、13日を年金者デーとし、  
堺東駅前を府下全域70人から100  
人の組合員で支援行動、15日告示日  
以降の全駅頭宣伝にはずみをつけま  
した。

### 介護・医療保険不服審査 請求運動などのとりくみ

昨年を大きく上回る1000件以  
上の保険料不服審査請求をめざし、  
7月31日に、生活と健康を守る会、

介護保険料に怒る一揆の会共催の不  
服審査請求学習会を開催、8月22日  
に一斉提出しました。

介護・809件、国保・270件、  
後期医療・226件、合計1305  
件と大きく前進しました。

### 記念集会や記念行事を開催

10月16日、東成区民センターで府  
本部女性部結成20周年記念集会を1  
60人の参加で祝いました。

アンデス民族音楽を楽しみ、ブロッ  
クごとの多彩な出演、支部からの作  
品展示、不服審査請求などの運動提  
起で「楽しみ7分・運動3分」の成  
果を示す意義深い内容でした。

10月6日、なんば囲碁学園で府本  
部25周年記念囲碁大会が開催され、  
16人が参加。1月22日には、なんば  
体育館卓球会場で同記念卓球大会を  
開催、選手、応援者あわせて100  
人余りの参加でした。

### 年金削減怒りの10・22年金者 一揆in大阪

#### 過去最高700人の参加

2・5%年金削減に反対する「行  
政不服審査請求運動」を展開する中

で取り組んだ「10・22年金一揆」は、  
過去最高の700人が参加。淀屋橋  
宣伝、中之島公園女神像前集会、パ  
レードは、参加者全員が一斉に広げ  
るオレンジ色の「年金を下げるな」  
タオルや各支部の創意あふれるプラ  
カード、幟などで市民にアピールし  
ました。

NHK大阪が2・5%削減中止を  
訴える集会、パレードを取材、ニュー  
ス放映しました。

### 安倍内閣暴走・秘密保護法 ストップなどのたたかい

12月6日、自公政権は憲法違反の  
秘密保護法を強行成立させました。  
12月1日ストップパレードなど安倍  
内閣の暴走に反対する行動に、府本  
部、各支部は緊急の取り組みに参加  
しました。

### 組織拡大のとりくみ

9月27日30人で柏原支部、11月27  
日7人で豊能支部が発足。2013  
年春の拡大月間で積み残した「一万  
人組合員達成」が、13年秋の拡大月  
間の課題となりました。

「年金削減不服審査請求」運動の

なか、仲間増やしに奮闘しましたが、  
退会者が多く出たこともあり985  
0人とどまりました。引き続き大  
阪府本部25周年の3月までに1万人  
を達成する「拡大旬間」を設けまし  
た。

### 社会のうごき

- 2013年
- 7・8 電力4社が原発10基の再稼働申請
- 8・6 最低賃金14円アップ
- 9・7 2020年東京五輪決定
- 9・22 「倍返し!半沢直樹」42%視聴率
- 10・1 来年4月から消費増税8%増税決定
- 10・22 全国のホテル等で表示偽装
- 11・22 猪瀬東京都知事、徳州会から五千万円受領
- 11・26 減反廃止を決定
- 12・4 和食がユネスコ無形文化遺産に登録
- 12・6 特定秘密保護法が成立
- 12・13 1%削減年金支給
- 2014年
- 1・19 沖縄名護市長選で辺野古基地建設反対の稲嶺氏が圧勝
- 2・7 ソチ冬季オリンピック開幕



# 結成25周年を祝う

## 支部からのメッセージ

### 女性支部長で運動が前進

**城東支部** 上田トミエ（2008年6月〜）、中居多津子（2011年7月〜）と2代続いて女性が執行委員長を担って5年が経ちました。この間三桁の支部を実現し、今150人の支部をと奮闘中です。  
（中居多津子）

### 今年支部結成20周年

**住吉支部** 今年結成20周年を迎え、記念誌の発行と祝賀行事の準備を進めるとともに、来年の第22回定期大会を530人の組合員で迎えようと「仲間ふやし」と「頼りになる役員体制の確立」に取り組んでいます。  
（佐伯洋二）

### 組織の体力づくりを

**東淀川支部** 再建総会から1年4カ月、支部は方向性を見出し、歩みは決して早くないが進むべき道を踏み外すことなく進んでいると思います。組織としての「体力」が身について

いるとはまだ言えません。それが我が支部の今後の課題です。  
（乙田弘一）

### 歌声で芽生えた連帯感

**富田林支部** うた声喫茶「みどりの風」「ひまわり」は合わせるると100人を超す参加者で会場は一杯。充実した伴奏陣のリードで気分よく大きな声で歌ったあとは笑顔で帰ら



演奏陣も充実し、毎月大盛況のうたごえで組合員も増えている富田林支部



2010年、高槻島本支部の沖縄旅行、辺野古団結小屋へ寄せ書きとカンパ

れます。一緒に歌っている中で芽生えてきた連帯感は、地域の宝物です。  
（木下町子）

### 定員80人が満席になる旅行

**高槻・島本支部** 行楽行事では旅行が一番人気です。受付開始から2週間でバス2台の定員80人が満席になります。思い出の地は、1泊旅行では「石見銀山」「白川郷」「信州・無言館」、日帰りでは「海津大崎の花見」「徳島ドイツ館」など。  
（織部 巖）

### 元気に20周年記念のつどい

**交野支部** 13年1月支部結成20周

年のつどいを開催。企画は女性部が担当。コンサート・喜寿のお祝い、作品展と盛り沢山。153人の参加で熱気に溢れ、会場で7人が組合加入。組織拡大も大きな弾みがつきました。  
（馬場靖夫）

### 電車停め全員無事帰宅

**福島支部** 毎年恒例のJR特例運賃琵琶湖・草津線・大和路線周遊。ある年、柘植駅で乗換えの時、皆乗った積りで電車は出発。ホーム階段を見ると仲間1人が降りて来る。わあ！大変、停めて！ワンマンカー運転手に叫ぶと、電車は停まり、全員無事帰着した。  
（生駒 清）

### 2年連続拡大表彰

**寝屋川支部** 組合に入ってから6年余り。100人は支部のみんなの目標でした。支部役員に変化が出てきたのは、ここ2〜3年です。2桁目標に挑戦し、2012年12月に102人に自信をもち、さらに2013年は135人と2年連続本部表彰され、小支部ですが、秋の月間で150人を達成し、200人に近づきたいです。  
（生田 淳子）

### 堺市長選挙勝利に貢献

堺北支部 5年間に330人から520人に。機関紙もB4版4頁からA3版12頁に。サークルは6から21と増やす。  
行事には新たに地域に開かれた作品展を創設。支部として2013年堺市長選の勝利に貢献できた。

(一塚正紘)

### 5年間で120人増やす

羽曳野支部 60人でスタートした支部が、この5年間で120人仲間をふやし470人に。それで市内のいろいろな集まりには支部の仲間がいつもいっぱいだし、バス旅行も1台では直ぐに一杯。新春の集いの会



組合員700人達成を喜ぶ枚方支部の皆さん

場も狭く、64%の女性でいつも賑やかです。  
(土井正義)

### 地域運動で寄せられる期待

枚方支部 5年間で571人から11月末で697人に、一時は700人になりましたが、死亡、転居、退会などで秋の月間中も日々一進一退が続いています。

枚方市内の社保協、消費税廃止連絡会などの民主運動でも期待が大きく、増税や年金減額など悪政が続く中、支部の強化に向け頑張っています。  
(杉澤 留吉)

### 低価格旅行で仲間増やす

淀川支部 5年前、支部は57人(目標は60人)。府本部要請の「口



西支部結成総会 (2010. 2. 25)



吹田支部の駅前宣伝行動

蹄疫被災農家支援募金」も。扇町公園での年金一揆に8人が参加。拡大の一環に、彦根城見学・リゾートホテル一泊や山代温泉など低価格旅行など実施。その年62人の組織に成長しました。  
(松谷 治男)

### 区に30数項目の要望書提出

天王寺支部 12年度から地域の街づくり運動に取り組み、区に対して30数項目の要望書を提出し、公募の水谷区長と懇談しました。また、中断していた戦争展を平和委員会と共同して再建しました。  
(平嶋 正)

### 役員体制の強化急ぐ

此花支部 140人を超えていた組合員数も、この間、支部長・書記

### かけがえのない人生を

#### 豊中支部

さあ、歩いてゆこう。かけがえのない人生。  
25年目の第1歩。おめでとうございます。  
10年たったら、おれはまちがいなく後期高齢者。  
おい、隣のおやじさんよ、その日がくるまで、  
憲法25条が保障される政府を!  
(中島 信明)

長の病気など様々な要因で60人台にまで落ち込んでいます。このため新しい支部長を迎えるなど、役員体制の強化を急いでいます。秋の月間では実質5人の拡大をやりきろうと頑張っています。  
(阿部四郎次)

### 分離独立し20歳の誕生日

住之江支部 住吉住之江支部から39人で分離独立し、昨年9月に20歳の誕生日を迎え160人になりました。20周年を記念し名前入りのポールペンを全組合員に届け、一層の前進を誓い合いました。  
(井上 和俊)

# 働く仲間の助け合い大切に自主共済運営

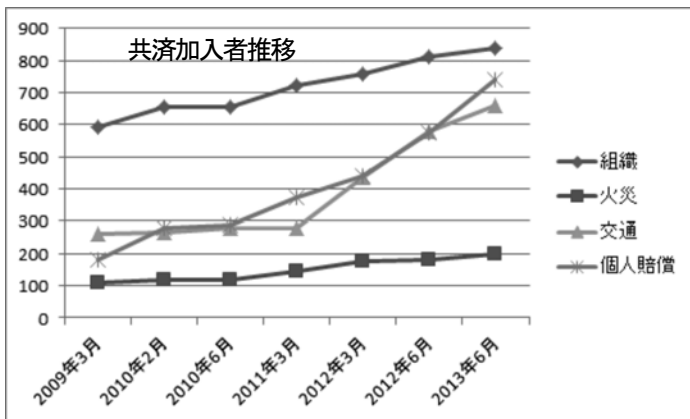
1980年台に入り労働運動の右傾化が強まる中、既存の共済事業連動が本来の役割を捨てて、収益事業体に変質しました。

1987年7月、JMIU、全労連・全国一般、紙パ協議会（当時）、化学一般全関東地本の4産別が連帯し、営利を目的とせず、真に組合員同士が助け合う共済運動をめざし労働共済会を設立。当時の加入者数は2500人でした。

大阪でも全国の動きに呼応して、大阪労連結成2年後の1991年に大阪労働共済会が設立されました。



「知って得する学習会」と銘うって開かれた「共済担当者会議」（13.10.15）



2006年4月施行の「改正保険業法」は、当初、消費者保護を名目に「ニセ共済」「エセ共済」（代表的なものではオレンジ共済）を規制するものでしたが、共済が大きく発展し、民間保険との競争が激化する中、またアメリカの金融保険資本が日本の市場開放を求める中で、協同

大阪労働共済理事		
任期	氏名	府本部役職
95.7-96.6	高倉 昌治	書記次長
96.7-97.6	高倉 昌治	書記次長
97.7-98.6	吉川 英雄	副委員長
98.7-99.6	吉川 英雄	副委員長
99.7-00.6	吉川 英雄	副委員長
00.7-01.6	伊藤 起好	書記次長
01.7-02.6	伊藤 起好	書記次長
02.7-03.6	伊藤 起好	副委員長
03.7-04.6	伊藤 起好	副委員長
04.7-05.6	伊藤 起好	副委員長
05.7-06.6	伊藤 起好	副委員長
06.7-07.6	伊藤 起好	副委員長
07.7-08.6	伊藤 起好	副委員長
08.7-09.6	中川五十次	執行委員
09.7-10.1	垣内 健	副委員長
大阪労連共済理事		
10.2-10.6	垣内 健	副委員長
10.7-11.6	村崎 秀子	副委員長
11.7-12.6	村崎 秀子	副委員長
12.7-13.6	村崎 秀子	副委員長
13.7-14.6	村崎 秀子	副委員長

組合や労働組合、各種団体の自主的な共済がすべて規制の対象とされました。

この攻撃に対して粘り強いたたかいはする中で、労働組合共済はとりあえず適用除外となりましたが、労働組合共済活動の単位を「一の労働組合」に狭く限定する新たな攻撃をかけたきました。

もともと自主的な共済を「保険」と同列に扱うのは本末転倒ですが、「改正保険業法」から適用除外させるための防衛策として、2010年2月1日、労働共済を展覧的に解消し、ナショナルセンター・ローカルセンターである全労連共済・大阪労働共済を設立しました。

連共済を設立。労働組合の自主共済運動が120万全労連に継承され今日に至っています。年金者組合、大阪府本部は、

この間「組合活動事故見舞共済」（組織加入）と「火災共済」「交通災害共済」「自動車共済」「個人賠償責任共済」

「行事スポット保険」に取り組んできました。「大阪労働共済拡大キャンペーン」では、2011年から3年連続、「団体の部1位」となり、大阪労連大会で表彰されています。

また共済掛金の8%が支所活動費として還元されていますが、その4割を各支部の掛金に充じて還元し支部財政の一助としています。

1995年7月から大阪労働共済会に、2010年2月から大阪労連共済に理事を送り、共済の拡大に積極的に取り組んできました。

## 「備えあり共に済ける命綱」

松原・佐藤嘉明